

防災行政無線を新しくします

火災の発生・鎮火や避難勧告などの情報を市民の皆さんにお知らせする「防災行政無線」の整備を、市内全域を対象に今年度から同30年度にかけて行います。設備の老朽化や、アナログ方式からデジタル方式への変更などのため行うもので、全体事業費は約38億円です。

そこで、防災行政無線設備の中でも市民の皆さんに身近な“屋外拡声子局”（スピーカー）、戸別受信機の整備についてお知らせします。

なお、整備にあたっては、既存設備と新しい設備の併用期間を設けるなどして、空白期間がないように行います。



▲屋外拡声子局

■屋外拡声子局の整備

旧市町を単位として、老朽化が特に進んでいる地域、防災行政無線設備が未整備の地域を平成27年度に、そのほかの地域を同28年度に整備します（右表参照）。

◆屋外拡声子局の整備スケジュール

整備年度	整備地域
H27年度	五和・河浦
H28年度	本渡・牛深・有明・御所浦 栖本・倉岳・新和・天草

■戸別受信機の整備

防災行政無線からの情報を各家庭にお知らせする“戸別受信機”は、平成29・30年度に全世帯へ配布予定です。

自主防災組織の活動を支援するため補助金を交付しています

◆補助対象

自主防災組織をあらたに設立する場合の資機材購入、既存の自主防災組織が行う訓練費用（資機材、たき出しの材料や講師謝礼など）。

◆補助金額＝5万円を上限。



◀▲新和町内の自主防災組織が昨年整備した防災資機材

避難路などの整備に必要な原材料を支給します

地域で定めた避難路などを、地域の皆さんがみずからの労力により整備を行う場合、整備に必要な原材料（セメント、鋼管、ロープ、誘導看板など）を支給します。

◆支給原材料の限度額＝1 避難路当たり5万円。

◆申請方法＝本庁・防災危機管理課または各支所担当課へ申請してください。

【問い合わせ先】本庁・防災危機管理課 ☎②1111

知っておきたい「防災知識」



◆気象庁が発表する「注意報・警報・特別警報」

重大度 ↓ 高い	注意報	災害が発生するおそれがあると予想されるときに発表。
	警報	重大な災害が発生するおそれがあるときに発表。
	特別警報	さらに重大な災害が起こるおそれがいちじるしく大きいときに発表。

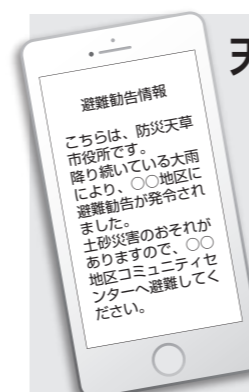
【土砂災害警戒情報】大雨警報の発表中に、さらに土砂災害の危険が高まったときに、熊本地方气象台と県が発表するもの。市では、市内を東部（本渡・有明・御所浦・倉岳・栖本・新和・五和）と西部（牛深・天草・河浦）に分けて発表。この情報が発表されたときは、時間帯を問わず市の防災行政無線で市民の皆さんにお知らせします。

◆市がお知らせする「避難情報」

緊急度 ↓ 高い	避難準備情報	災害発生のおそれがあるときに、避難に時間がかかる人は避難の開始を、そのほかの住民には避難の準備をお願いするもの。
	避難勧告	災害発生のおそれがあるため、住民に避難を勧めるもの。
	避難指示	避難勧告の場合よりさらに災害発生のおそれが高く、住民に強く避難を求めるもの。

◆「土砂災害」の種類と前触れ

土石流	がけ崩れ	地すべり
<p>長雨や集中豪雨によって、石や土砂が水といっしょになって一気に下流に流れる現象。</p> <ul style="list-style-type: none"> 山鳴りがする。 急に川の流りがにごり、流木が混ざっている。 雨が降り続けているのに川の水位が下がる。 	<p>長雨や集中豪雨によって、斜面が急に崩れ落ちる現象。</p> <ul style="list-style-type: none"> がけから水が湧き出す。 がけに亀裂が入る。 がけから小石が落ちてくる。 がけから木の根が切れるなどの異様な音がする。 樹木や電柱が傾く。 	<p>地下水などが粘土のようなすべりやすい地面にしみ込んで、その影響で地面が動き出す現象。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地鳴りがする。 沢や井戸の水がにごる。 地面にひび割れができる。 斜面から水が湧き出す。 樹木や電柱が傾く。



天草市安心・安全メールへの登録を！

避難勧告や土砂災害警戒情報などを電子メールで携帯電話やパソコンに配信するサービスです。登録料は無料です（通送料は自己負担）。皆さん、ぜひご活用ください。

■登録方法

re-ansin@amakusa-web.jpまたは右のQRコードにアクセスして空メールを送信し、返信メールの案内にしたがって登録してください。



QRコード

・携帯電話でパソコンからのメールを受信しない設定を行っている場合は、ドメイン名「amakusa-web.jp」が受信できるように設定してください。